

どう考えるか」

質疑⑪ 「今後、法定外繰入金を最高いくらまで支出するのか。上限額の設定をしているのか」

質疑⑫ 「非自発的失業者に対して軽減措置の周知徹底をしているのか」

質疑⑬ 「税の公平性に問題がないか」

質疑⑭ 「国保財政調整基金の残高はいくらか」

質疑⑮ 「資産割は将来なくすのか」

質疑⑯ 「年度内の国保残高はどうするのか」

質疑⑰ 「約5億円の未収分がある。払えるのに払わない場合に、資格証明書を発行しないのか」

質疑⑱ 「2年後にまた

値上げの予定。払えない人が増えるのではないか」

質疑⑲ 「短期保険証の運用はどうしているのか」

質疑⑳ 「国保の将来の見通しはどうか」

質疑㉑ 「払える人と払えない人の区別は？」

質疑㉒ 「今後の健康対策は？」

質疑㉓ 「滞納分は5年後に不能欠損になる。どのような人がなるのか」

反対討論① 「国保は医療のセーフティネットであり、憲法25条に基づき社会保障制度。値上げは苦しい家計や生活を直撃する。財政調整基金（法

定外）の繰り入れを増やして値上げは見送るべき」

賛成討論① 「法定外の2億円を出す状況も続けばほかの負担も数多く出てくる。足りなければ一般財源で賄うことも問題である。診療報酬の改正

もあり、今回の改正は賛成せざるを得ない」

反対討論② 「年収350万円、資産なしのモデルケースで約4万7千円増は大きい。収納対策など、もっと議論を尽くし、継続協議するために、今日の議案には反対する」

子宮頸がんワクチン無料化

◆議案30号岩沼市一般会計補正予算（第1号）

歳入、歳出とも2億2658万円を追加し、総額158億5358万円とするもの。主な歳入は高齢者福祉施設整備事業に県補助金1億9744万円など。主な歳出は小規模特別養護老人ホーム建設補助金、子宮頸がん予防ワクチン接種補助金など。

質疑① 「ワクチンの接種効果年齢は何歳から何歳までか」

質疑② 「接種する助成対象年齢域を小学6年生から中学3年生までにした理由は何か」

質疑③ 「ワクチンの免

疫効果はいつから現れるのか」

質疑④ 「なぜ全額助成対象としたのか」

質疑⑤ 「子宮頸がん検診の大切さを市民に周知する必要がある。方向性を伺う」

質疑⑥ 「子宮頸がん予防ワクチン接種補助金について、議会開催前に新聞報道で市民に知らせることは議会軽視ではないか」

質疑⑦ 「岩沼市でやるのは自治体のサービス合戦であり、市長の売名行為ではないか」

質疑⑧ 「10代、20代に接種対象年齢を広げてはどうか」

質疑⑨ 「市内に子宮頸がん罹患者（りかん）している方は何人いるか」

質疑⑩ 「高齢者福祉施設整備事業は、具体的にどの地域に予定されているか」

質疑⑪ 「新図書館運営事業で、管理システムの詳細について伺う」

人事

◆人権擁護委員

渡邊 栄子 氏（再任）

議員の退職

平成22年5月23日付で、公職選挙法第90条（立候補のための退職）の規定により議員を退職しました。

大友 健

委員の変更

大友健議員の退職により、次の委員が選任されました。

◆総務常任委員会

副委員長 佐藤 一郎

◆議会運営委員会

委員 梶谷 洋夫

◆情報化対策特別委員会

委員 加藤 政勝

議案番号	審議した議案等	審議結果
承認1号	専決処分・岩沼市市税条例等（一部改正）	原案承認
承認2号	専決処分・平成21年度岩沼市一般会計補正予算（第9号）	原案承認
議案23号	岩沼市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例	原案可決
議案24号	岩沼市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例（一部改正）	原案可決
議案25号	岩沼市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例（一部改正）	原案可決